

2 鳥取県立中央病院（鳥取市江津）

- 鳥取県立中央病院は、県東部地域の高度医療を担う中核病院です。
- 水資源の有効利用を目的に、雨水を有効利用する設備が設けられています。
- 屋上と2階の集水エリアで集めた雨水は、地下の雨水貯留槽に溜めてごみを取り除き(ろ過)、消毒をした後、屋外の散水に利用しています。

【施設概要】

施設用途: 外来診療(39科)、病床518床
 外来患者数: 平均約800人/日(R5年度)
 敷地面積: 約63,000m² 延床面積: 約60,000m²
 貯留槽設置: 平成30年12月 貯留槽の大きさ: 63m³
 雨水利用量(平均): 約8.2m³/年
 維持管理: 職員による点検(毎月)
 専門業者による点検・水質検査(3か月に1回)



目的・効果

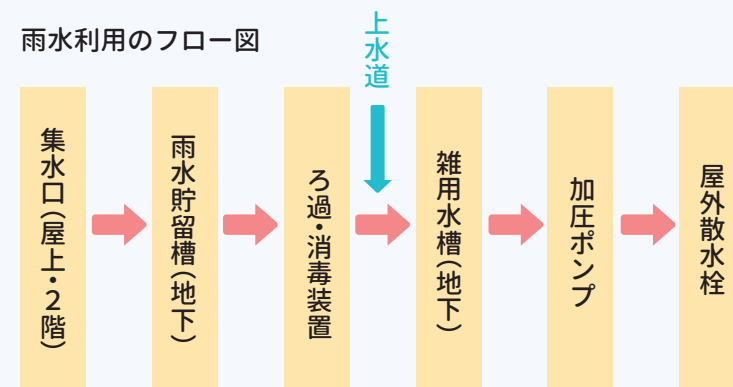
環境配慮

水道使用量削減

利用用途

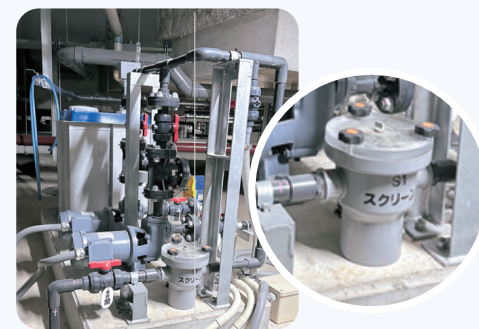
- ・屋外散水
(芝や植栽の水やり)

雨水利用のフロー図



2階集水エリア

集水口



ろ過・消毒装置



屋外散水栓



3 鳥取県東部庁舎（鳥取市立川町）

- 鳥取県東部庁舎は、県の事務所のほか県民ホールやギャラリーなどがあり、日々多くの県民が利用する施設です。
- 屋上で集めた雨水は、雨どいを通して地下の雨水貯留槽に溜め、ごみを取り除き(ろ過)、消毒をした後、トイレの洗浄水に利用しています。
- 庁舎内のトイレは災害時にも使用できるため、雨水も洗浄水として役に立ちます。

【施設概要】

施設用途: 事務室、県民ホール、東部ギャラリー、講堂、会議室 ほか
 敷地面積: 約9,600m² 延床面積: 約9,000m²
 貯留槽設置: 平成12年12月 貯留槽の大きさ: 39m³
 雨水利用量(平均): 約16m³/月
 維持管理: 専門業者による点検(毎日)、水槽清掃(年2回)、水質検査



目的・効果

環境配慮

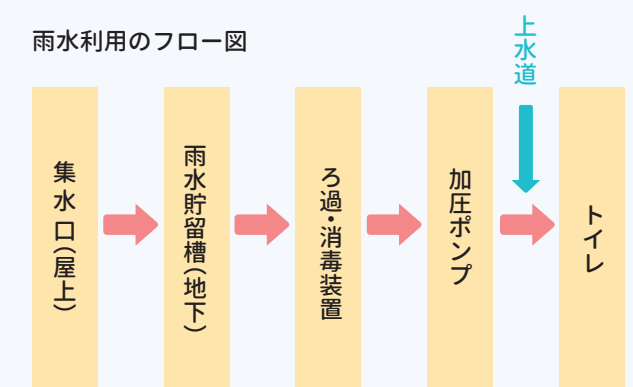
水道使用量削減

災害時の利用

利用用途

- ・トイレ洗浄水

雨水利用のフロー図



屋上の集水口



雨どい



雨水貯留槽



ろ過装置



消毒装置

